

目的

- 県民の NDB（特定健診・医療レセプト）・介護データを個人レベルで紐づけしたデータをもとに、将来の疾病発症、医療費、要介護リスクの予測モデルを構築する。
- さらに、予測モデルを用いた地域特性の可視化ツールやターゲットを絞った個別指導等につながるシステム、個人が利用できる健康アプリを開発する。
- これらの取組により、疾病、医療費、介護リスク等の将来予測に基づく、効果的な健康づくり、医療費適正化、介護予防の施策を推進する。

《事業の流れ》

取得する健康ビッグデータ

- 1 種 別：NDB（特定健診・医療費データ）及び介護DB（認定情報・レセ）
- 2 期 間：平成 24 年度～30 年度までの 7 年間分
- 3 そ の 他：NDB、介護DB特別抽出データ（匿名化された個人レベルのデータ）
※各データ間の突合作業が必要

データクリーニング

令和 3 年度 4 月～6 月

アルゴリズム開発

令和 3 年度 7 月～3 月末

システム開発

令和 4 年度以降

達成目標

委託先

< 県立大学社会情報科学部・民間企業 >

